

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成13年5月28日

第9報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	270		
(珪) <i>Synedra acus</i>	10		
(珪) <i>Cymbella ventricosa</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	80		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	40		
(緑) <i>Chodatella sp.</i>	10		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	10		
(緑) <i>Monoraphidium sp.</i>	10		
(緑) <i>Pediastrum duplex</i>	160		
(緑) <i>Scenedesmus circumfusus</i>	40		
(緑) <i>Mougeotia sp.</i>	14		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	10		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	27		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	290	42.0	7.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	120	17.4	7.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	281	40.7	85.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	691	総体積	1.91E+06
種類数	13	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は *が第1優占種、 *が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
甲殻類 <i>Bosmina longirostris</i>	2100

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Ploesoma truncatum</i>	60

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種

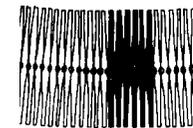
動物プランクトン第1優占種

Fragilaria crotonensis
(オビケイソウ)
珪藻綱

Bosmina longirostris
(ゾウミジンコ)
甲殻類

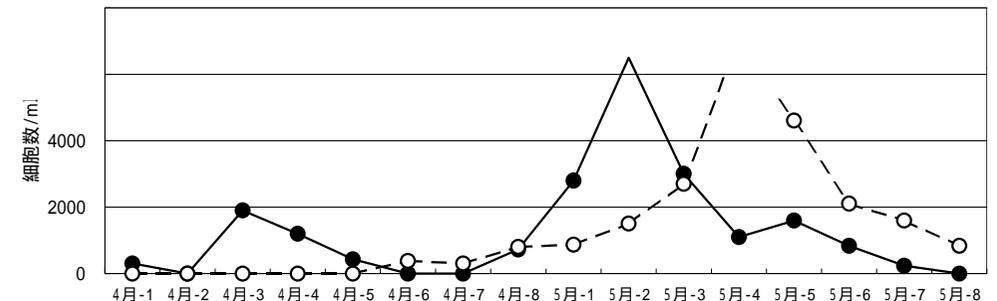
多数の細胞が中央殻面で互いに接しあつて、帯状の群体を形成して浮遊する。

体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長い
ためゾウミジンコと呼ばれている。



コメント:

植物プランクトンはウログレナが見られなくなり、総細胞数は減少した。動物プランクトンはゾウミジンコが非常に多かった。



平成12,13年4月からのウログレナ細胞数の変動